

93

午 前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成19年2月23日 10時40分～12時00分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は75問で解答時間は正味1時間20分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から4までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) [問題 101] 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④
			↓	
101	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

101	101
①	①
②	②
③	→ ●
④	④

- (2) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。

〔問題 1〕 保健師(保健婦)の業務が初めて定義されたのはどれか。

1. 保健所法
2. 保健婦規則
3. 保健所法施行規則
4. 保健婦助産婦看護婦令

〔問題 2〕 疾病構造に影響を及ぼす要因でないのはどれか。

1. 衛生状態の改善
2. 生活習慣の変化
3. 在宅ケアの推進
4. 人口構成の高齢化

〔問題 3〕 二国間の国際保健医療協力を行うのはどれか。

1. 世界保健機関(WHO)
2. 国際協力機構(JICA)
3. 経済協力開発機構(OECD)
4. 国際連合児童基金(UNICEF)

〔問題 4〕 大気汚染防止法に規定されている特定粉じんはどれか。

1. 黄砂
2. 石綿(アスベスト)
3. スパイクタイヤ粉じん
4. ディーゼル排気微粒子

〔問題 5〕 予防的保健行動で適切なのはどれか。

1. 腹痛がするので市販薬を飲む。
2. 主治医の指示で禁煙している。
3. 下痢が続くため医療機関を受診する。
4. 脂身の少ない肉を食べるようにしている。

〔問題 6〕 オタワ憲章でのヘルスプロモーションの活動方法で適切なのはどれか。

1. 適正技術の導入
2. 医療サービスの組織化
3. 健康を支援する環境づくり
4. 地域で入手可能な資源の優先利用

〔問題 7〕 ハイリスク・ストラテジーはどれか。

1. 定年退職者に対する介護予防対策
2. 男性同性愛者に対するエイズ予防対策
3. 壮年労働者に対する生活習慣病予防対策
4. 子育て中の家族に対する虐待予防対策

〔問題 8〕 「健やか親子 21」で思春期の保健対策の目標値が 100% なのはどれか。

1. 学校保健委員会を開催している小・中学校の割合
2. 薬物乱用防止教育を実施している小学校の割合
3. スクールカウンセラーを配置している小学校の割合
4. 思春期外来を設置している精神保健福祉センターの割合

〔問題 9〕 健康教育のグループワークを企画し、保健師が司会を担当することになった。

適切なのはどれか。

1. 積極的に発言する。
2. 企画どおりの結論に導く。
3. 話し合った内容を確認する。
4. 順番どおりに発言を求める。

〔問題 10〕 訪問の優先度が高いのはどれか。

1. 1年間断酒しているアルコール依存症患者
2. 2,300 g で出生しその後順調に発育している1歳6か月児
3. 基本健康診査で血糖値の異常を発見され治療が開始された成人
4. 喀痰塗抹菌検査ガフキー5号で結核患者発生届出のあった青年

〔問題 11〕 2歳3か月児をもつ母親が「子どもがいつまでもごはんを食べている。片付かないし、どうしたらいいかわからない」と電話をかけてきた。

適切な対応はどれか。

1. 「厳しく叱って食べさせてください」
2. 「食事の量を半分にしましょう」
3. 「好きな物を中心に献立を作りましょう」
4. 「食事時間を30分と決め、時間になったら切り上げてはどうでしょう」

〔問題 12〕 「虐待されている孫のことで思い切って相談に来ました」と保健センターに住民が来所した。地区担当保健師は家庭訪問で不在である。

対応で適切なのはどれか。

1. 「担当者が不在なので明日来てください」
2. 「担当者が戻るまでここで待っていてください」
3. 「担当者は不在ですが代わりに相談を受けます」
4. 「担当者から電話しますので番号を教えてください」

〔問題 13〕 減量を始めて1か月のAさんから「毎日歩いているけれど思うように体重が減らない」と相談があった。

保健師が最初に確認するのはどれか。

1. 運動量
2. 食事量
3. 疲労の状態
4. 体重の変化

〔問題 14〕 農村地区の住民を対象に基本健康診査の結果説明会を開催しようと考えた。

優先度が高いのはどれか。

1. 農繁期を避ける。
2. 必要経費を調べる。
3. 受持地区の自治会長に開催場所を相談する。
4. 説明を担当する医師のスケジュールを確認する。

〔問題 15〕 4か月児健康診査の間診項目はどれか。

1. 寝返りをしますか。
2. 人見知りをしますか。
3. おもちゃを持ち替えますか。
4. あやすと声を出して笑いますか。

〔問題 16〕 国民健康・栄養調査で正しいのはどれか。

1. 食物摂取状況を調べる。
2. 医療に対する満足度を把握する。
3. 老人保健法に基づいて実施されている。
4. 国民健康保険の被保険者が対象者である。

〔問題 17〕 55歳の男性。自営業。飲酒ビール1缶(350 ml)/日。基本健康診査で総コレステロール 245 mg/dl、HDLコレステロール 35 mg/dl、他の検査項目に異常はない。

保健指導で適切なのはどれか。

1. 禁酒
2. 塩分摂取の制限
3. 食物繊維の摂取
4. 動物性脂肪の摂取

〔問題 18〕 生活習慣病の一次予防はどれか。

1. 職場の施設内を禁煙にした。
2. 喫煙者に肺がん検診を実施した。
3. アルコール依存症の相談会を行った。
4. 糖尿病の要治療者に受診指導を行った。

〔問題 19〕 後期高齢者の自立の維持向上のために勧める運動で適切なのはどれか。

1. ストレッチ
2. ジョギング
3. ハイキング
4. ゲートボール

〔問題 20〕 精神保健の歴史で市町村の役割が初めて示された法律はどれか。

1. 精神病院法
2. 精神衛生法
3. 精神保健法
4. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律

〔問題 21〕 中学1年生を対象に薬物乱用防止に関する健康教育を実施することになった。

内容で優先度が高いのはどれか。

1. 専門相談窓口の利用方法
2. 覚醒剤事犯の検挙者数の推移
3. 中毒者に対する医療処置の実例
4. 薬物乱用の弊害についての知識

〔問題 22〕 「新障害者プラン」の内容で適切なのはどれか。

1. 障害の予防を目的とする。
2. 障害者の自助努力を基本とする。
3. 障害者中心の社会づくりを行う。
4. 障害児の地域療育体制を構築する。

〔問題 23〕 84歳の女性。1人暮らし。認知症。日常生活自立度判定基準ランクⅡa、要介護1。身寄りはなく公営住宅の2階に住んでいる。最近、金銭管理が困難になってきている。

適切な対応はどれか。

1. 知的刺激を避ける。
2. 成年後見制度を紹介する。
3. 1階の住居への転居を勧める。
4. 特別養護老人ホームへの入所を勧める。

〔問題 24〕 難病相談・支援センター事業で正しいのはどれか。

1. 実施主体は市町村である。
2. 難病患者の就労支援を行う。
3. 地域の治療研究の拠点施設となる。
4. 昭和47年度(1972年度)より開始された。

〔問題 25〕 38歳の男性。高齢の両親と3人暮らし。半年前から歩行中に転倒しやすくなり、専門医療機関を受診し筋萎縮性側索硬化症と診断された。

対応で優先度が高いのはどれか。

1. 文字盤の利用を勧める。
2. 医療費助成制度を説明する。
3. 介護保険制度の活用を勧める。
4. 家族にレスパイトケアを勧める。

〔問題 26〕 生後3か月までの乳児を預かる施設の職員が結核を発病した。結核菌検査の結果は塗抹(-)、培養(+)で、通院治療が開始された。施設を利用している乳児にBCG接種を受けた者はいなかった。接触のあった児の親へ説明することになった。

説明内容で正しいのはどれか。

1. 直ちにBCG接種が必要である。
2. 直ちに抗結核薬の内服が必要である。
3. 最終接触から8週後に胸部エックス線撮影が必要である。
4. 最終接触から8週後にツベルクリン反応検査が必要である。

〔問題 27〕 保健所で10代の若者を対象にエイズ・ピア・エデュケーション事業を実施した。

ピア・エデュケーターの活動で適切なのはどれか。

1. 高校教師へのエイズ予防教育
2. 思春期の子どもを持つ親への面接相談
3. コンドームの正しい使い方の学園祭でのパネル展示
4. 命の大切さをテーマにした中学生の保護者対象の講演会

〔問題 28〕 乳幼児期の歯科保健指導で適切なのはどれか。

1. ガーゼによる口腔ケアは乳児期から始める。
2. 歯ブラシは2歳頃から持たせる。
3. 親による仕上げ磨きは3歳頃まで必要である。
4. ブクブクうがいは4歳頃から練習を始める。

〔問題 29〕 コミュニティ・アズ・パートナー・モデルで正しいのはどれか。

1. 社会診断から開始する。
2. 学習理論を基盤としている。
3. 介入は予防的視点で実施する。
4. 地域の物理的環境がアセスメントの中核である。

〔問題 30〕 離乳食講習会の内容の見直しを行う上で有用性の高い情報はどれか。

1. 参加者の感想
2. 参加者の年齢
3. 過去3年間の参加者数の推移
4. 乳児健康診査における発育状況

〔問題 31〕 地区活動計画で適切なのはどれか。

1. 地区活動の対象者は昼間人口とする。
2. 前年度の実績を参考に活動目標を設定する。
3. 地域の保健計画とは連動しない。
4. 活動計画に評価方法は含まない。

〔問題 32〕 基本健康診査で血糖値が高く糖負荷検査の結果、境界型と判定された受診者に個別健康教育を実施した。

1 か月後の結果評価の項目で適切なのはどれか。

1. 自覚症状
2. 受診状況
3. 主観的健康度
4. 摂取エネルギー量

〔問題 33〕 都道府県が策定する医療計画で正しいのはどれか。

1. 地域保健法に基づいて策定される。
2. 医療従事者の確保に関する事項を定める。
3. 市町村毎に地域保健医療協議会を設置する。
4. 市町村毎に感染症病床数管理計画を定める。

〔問題 34〕 市町村保健センターで新規事業を実施するための予算で正しいのはどれか。

1. 予算要求書には事業計画書が必要である。
2. 通常予算は年度当初の議会に提案される。
3. 年度予算は3年以内に執行する。
4. 予算の執行は議会が行う。

〔問題 35〕 指定訪問看護事業所の運営に関する基準に基づいて行う対応で誤っているのはどれか。

1. 遠方の利用申込者への居住地区事業者の紹介
2. 提供したサービスの利用者健康手帳への記載
3. 主治医の口頭指示による訪問看護の提供開始
4. 訪問看護提供に際しての計画書の作成

〔問題 36〕 肥満者を無作為に2つの集団に分け、異なる方法で減量教室を実施した。

減量の費用対効果はどれか。

1. 1教室当たりの経費
2. 参加者1人当たりの経費
3. 体重減少1kg当たりの経費
4. 減量失敗者1人当たりの経費

〔問題 37〕 住民が自主的に設立した組織はどれか。

1. 民生委員の連絡会
2. 母子保健推進委員会
3. 障害者支援の特定非営利活動法人
4. 公募委員による地域保健計画協議会

〔問題 38〕 地域の子育てグループのリーダーから「最近参加者が減少してきた。今後も独自の活動を継続したいがどうしたらいいか」と相談があった。

リーダーへの助言で優先度が高いのはどれか。

1. リーダーの交代
2. 活動内容の見直し
3. 保育所の事業への参加
4. 他の子育てグループとの統合

〔問題 39〕 地域ケアシステムの発展過程で第1段階はどれか。

1. 関係機関の連携
2. 公的サービスの充実
3. 支援のネットワーク化
4. 地域住民との共通認識の形成

〔問題 40〕 35歳の男性。筋ジストロフィーで在宅療養中である。

在宅ケア支援チームにおける保健師の活動で適切でないのはどれか。

1. 医師への連絡は家族に任せる。
2. 本人・家族の意思を代弁する。
3. 相談記録を分析して課題を明らかにする。
4. 本人の同意を得て近隣者からボランティアを募る。

〔問題 41〕 学校教育法に配置が定められているのはどれか。

1. 学校医
2. 養護教諭
3. 学校歯科医
4. 学校栄養職員

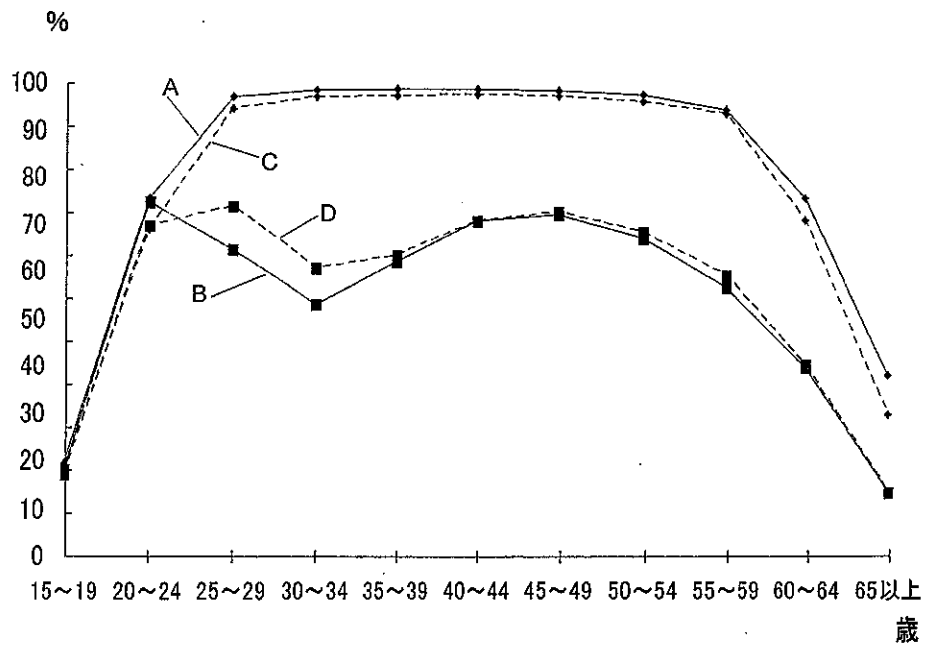
〔問題 42〕 今年の小学4年生は他の学年より保健室へ来る頻度が高い。

養護教諭の対応で適切なのはどれか。

1. 担任教師に児童への対応を依頼する。
2. 担任教師と児童の状況について話し合う。
3. 各クラスで保健室の利用について保健指導を行う。
4. 担任教師の許可のない児童は教室に戻るよう指導する。

〔問題 43〕 平成5年(1993年)と平成15年(2003年)における男女それぞれの年齢別労働力率の推移を図に示す。

平成15年(2003年)の女性労働力率はどれか。



1. A
2. B
3. C
4. D

〔問題 44〕 都道府県産業保健推進センターの保健師の業務はどれか。

1. 産業保健関係者に研修を実施する。
2. 従業員に健康診査結果の見方を指導する。
3. 高年齢の従業員に健康管理の助言を行う。
4. 小規模事業場の従業員を対象に健康相談窓口を開設する。

〔問題 45〕 下記の根拠となった法律はどれか。

昭和 57 年(1982 年)	寝たきり者等の訪問指導
昭和 62 年(1987 年)	老人保健施設の創設
平成 3 年(1991 年)	老人訪問看護制度の創設

1. 健康保険法
2. 地域保健法
3. 老人保健法
4. 老人福祉法

〔問題 46〕 在宅ケアで適切なのはどれか。

1. 35 歳から介護給付の対象となる。
2. 医療法人は訪問看護ステーションを開設できる。
3. 在宅ケアチームのコーディネーターは医師である。
4. 要介護認定を受けた者は医療給付を受けられない。

〔問題 47〕 高齢福祉部門の保健師が質の向上を目的に在宅ケアサービスの実務担当者による事例検討会を開催することにした。

適切なのはどれか。

1. 定期的を開催する。
2. 援助終了事例の検討は行わない。
3. 職種ごとの最終目標は保健師が設定する。
4. 事例への支援内容は施設長の意向に従う。

〔問題 48〕 防災計画の作成が明記されている法律はどれか。

1. 災害救助法
2. 災害対策基本法
3. 被災者生活再建支援法
4. 地震防災対策特別措置法

〔問題 49〕 災害時の保健師活動で復旧・復興期に行うのはどれか。

1. 災害弱者の把握
2. 救護所での健康相談
3. 仮設住宅入居者間の交流促進
4. 要援護者の所在確認

〔問題 50〕 産業保健で正しいのはどれか。

1. 労務管理は労働衛生の3管理の1つである。
2. 定期健康診断は健康増進法に基づいて行われる。
3. 特殊健康診断の実施状況報告は努力規定である。
4. VDT作業は一連続作業時間を1時間以内とする。

〔問題 51〕 保健所で正しいのはどれか。

1. 所長要件に職種の規定はない。
2. 所管区域は人口70万人を基本とする。
3. 水道の衛生に関することは業務に含まれない。
4. 公衆衛生の向上と増進を図ることを目的とする。

〔問題 52〕 平成 17 年度(2005 年度)の厚生労働省の予算で正しいのはどれか。

1. 国家予算額のおよそ 1/4 を占める。
2. 子ども体力向上プランは主要項目である。
3. 保健所の公衆衛生活動に必要な経費が支出される。
4. 生態系の保全・再生による良好な地域環境の創造は重点予算である。

〔問題 53〕 我が国でいわゆる公害病が公衆衛生上の問題となった時期はどれか。

1. 1920 年から 1930 年代
2. 1940 年から 1950 年代
3. 1960 年から 1970 年代
4. 1980 年代以降

〔問題 54〕 難病対策で正しいのはどれか。

1. 障害者基本法に基づき実施されている。
2. 国は調査研究費を負担している。
3. 都道府県は在宅介護費を支給している。
4. 入院治療費の助成は市町村が行っている。

〔問題 55〕 市町村保健センターで正しいのはどれか。

1. 健康増進法で規定されている。
2. 医療機関の監視指導を実施している。
3. センター長は保健師と規定されている。
4. 平成 15 年度末で保健所数の約 4 倍である。

〔問題 56〕 介護保険法の改正(平成17年6月)で新たに定められたのはどれか。

1. 財政安定化基金制度の創設
2. 第2号被保険者の対象範囲の拡大
3. 運動機能向上など新予防給付の導入
4. 介護予防・地域支え合い事業の創設

〔問題 57〕 「健康日本21」で正しいのはどれか。

1. 健康診査を中心とした疾病予防計画である。
2. 国民の健康寿命の延伸と生活の質の向上を基本理念としている。
3. 未成年者の喫煙率を半減することとしている。
4. 健康づくり推進協議会の設置が市町村に義務付けられている。

〔問題 58〕 保健計画進行管理で適切なのはどれか。

1. 中間評価は設定しない。
2. 当初計画の評価指標は変更しない。
3. 市民の健康意識の基礎データを調査する。
4. 計画の達成状況を市民が確認できる場を設定する。

〔問題 59〕 コホート調査はどれか。

1. 都道府県別に肝臓癌の死亡率を調べて比較した。
2. 胃癌患者群と胃潰瘍患者群との飲酒習慣を比較した。
3. 喫煙習慣のある集団とない集団との脳卒中発生状況を経年的に追跡した。
4. 1人当たりの牛乳消費量と大腿骨頸部骨折発生率との国際比較を行った。

〔問題 60〕 疫学研究における因果推論で正しいのはどれか。

1. 特異性は因果推論に必須である。
2. 関連の一致性は因果推論を強める。
3. 統計学的に有意な相関は因果関係である。
4. 時間的關係性は因果推論の十分条件である。

〔問題 61〕 致命割合(致命率)で正しいのはどれか。

1. 慢性疾患では計算できない。
2. 罹患した後の累積死亡割合である。
3. 算定には1年以上の観察期間が必要である。
4. 地域人口の中で単位観察期間に死亡する危険の大きさを示す。

〔問題 62〕 人口1,000人のA村で10年間での死亡数は20人であった。

人年法によるA村の死亡率(10万人年対)はどれか。

1. 20人
2. 100人
3. 200人
4. 1,000人

〔問題 63〕 大量喫煙者と非喫煙者の5年間の心疾患による死亡データを表に示す。
10万人年対の寄与危険はどれか。

	観察人年	死亡数(人)
大量喫煙者	20,000	200
非喫煙者	30,000	240

1. 1.2
2. 1.25
3. 40
4. 200

〔問題 64〕 症例対照調査研究の結果を表に示す。
オッズ比はどれか。

	喫煙有り	喫煙無し
胃潰瘍	70	30
対照群	40	60

1. 0.3
2. 1.8
3. 2.0
4. 3.5

〔問題 65〕 マッチングで正しいのはどれか。

1. 後向き調査では用いない。
2. 層化解析の一種である。
3. 交絡因子の制御法である。
4. 年齢の影響は調整できない。

〔問題 66〕 スクリーニングで敏感度が低い場合の問題点はどれか。

1. 判定に時間がかかる。
2. 患者の見落としが多くなる。
3. 精密検査の対象者が増える。
4. 測定者によって結果に変動が起こる。

〔問題 67〕 高齢者が多く入院している病院で、セラチアによる敗血症が多発した。

疑われる感染経路はどれか。

1. 患者給食
2. 屋上冷却塔
3. 蚊による刺咬
4. 点滴静脈内注射

〔問題 68〕 がんのリスクと食品との関連が実証されているのはどれか。

1. 多糖類は胃癌のリスクを低下させる。
2. 高脂肪食は乳癌のリスクを増加させる。
3. 食物繊維の摂取は大腸癌のリスクを増加させる。
4. コレステロール含有食品は肺癌のリスクを低下させる。

〔問題 69〕 平成 14 年(2002 年)の患者調査における精神障害者の入院医療で正しいのはどれか。

1. 任意入院の割合が高い。
2. 入院患者は外来患者より少ない。
3. 入院患者の約 3 割は統合失調症である。
4. 精神病床の平均在院日数は約 100 日である。

〔問題 70〕 公害病とその原因物質との組合せで正しいのはどれか。

1. 四日市喘息 ————— ダイオキシン
2. カネミ油症 ————— ヒ素
3. 新潟水俣病 ————— 有機水銀
4. イタイイタイ病 ————— 鉛

〔問題 71〕 塩分摂取量と収縮期血圧との「無相関の検定」をしたところ統計学的に有意でなかった。

正しいのはどれか。

1. 塩分摂取量が多いと収縮期血圧が高くなる。
2. 塩分摂取量が多いと収縮期血圧が低くなる。
3. 塩分摂取量と収縮期血圧とは関係がない。
4. 塩分摂取量と収縮期血圧との関係の有無については何も言えない。

〔問題 72〕 統計グラフで正しいのはどれか。

1. 回帰直線の傾きは相関係数と一致する。
2. パイ図は経時的変化を表す場合に適している。
3. ヒストグラムは度数分布を面積の大きさで表す。
4. 帯グラフは同一集団における頻度を対比する場合に用いる。

〔問題 73〕 平成 15 年(2003 年)の出生に関する統計で正しいのはどれか。

1. 出生率(千人年対)は 12.9 である。
2. 合計特殊出生率が最も高いのは北海道である。
3. 母の年齢別出生率は 25～29 歳が最も高い。
4. 出生児の母の平均年齢は 26.4 歳である。

〔問題 74〕 死因を調査するのはどれか。

1. 国勢調査
2. 人口動態調査
3. 医療施設調査
4. 国民生活基礎調査

〔問題 75〕 保健医療に関する情報処理で正しいのはどれか。

1. 保険診療報酬請求事務はオンライン化が完了している。
2. ホームページで公開されている情報は二次利用できない。
3. 健康診査の記録を電子媒体に保存する場合はバックアップをとる。
4. 結核発生動向調査では患者の氏名も含めた情報が厚生労働省に送られる。